

当面の技術対策（畜産編）

令和元年6月1日

発行：ゆとりみらい21農業推進協議会指導部会

1. 牧草

降水量が少ないことから、牧草の伸びは前回に比べ緩慢になっています。オーチャードライグラスは、既に出穂始めから出穂期を迎えており、チモシーにおいても生育の早まることが予想されます。収穫作業に向けて下記の準備を早めに進め、収穫に備えましょう。

① スタックシート・ラップフィルム等の資材の手配、作業機械の整備

② バンカーサイロの清掃、スタックサイロ設置土場の整備

③ サイロの周辺や、ダンプなど作業機械が通る通路の整備

(サイレージ調製において、原料草の詰め込み時に土砂やたい肥等が混入すると不良発酵の原因になります)

2. サイレージ用とうもろこし

は種作業は平年より6日程度早く、それに伴って出芽期も5日程度早くなっています。茎葉処理除草剤は、ほ場ごとの生育状況を確認し、例年よりも早めの散布を検討しましょう。

表1 サイレージ用とうもろこしの主な茎葉処理除草剤

主な対象雑草	除草剤名	使用時期	10a 当り 使用量	使用回数	主な注意事項
1年生雑草 全般	アルファード 液剤	作物3～5 葉期	100～150ml	1	散布時の展開葉に薬害(黄斑)を生じる場合があるが、その後の生育、収量には影響がない。 イチビの処理効果は、とうもろこし6～7 葉期処理のみで確認。
		作物6～7 葉期	150ml		
1年生雑草 全般	ゲザノン ゴールド	作物2～4 葉期	140～260ml	1	極端な過湿土壌および砂質土壌では生育が抑制することがあるので薬量を少なくする。(注1)(注2)
1年生雑草 全般	ブルーシア フロアブル	作物3～5 葉期	40～50ml	1	散布時の展開葉に薬害(黄斑)を生じる場合があるが、その後の生育、収量には影響がない。
		作物6～7 葉期	50～75ml		
広葉雑草	ゲザプリム フロアブル	作物2～4 葉期	100～200ml	1	雑草発生前から雑草揃期に散布すると最も効果がある。(注1)
イネ科雑草 及び1年生 雑草	ワンホープ 乳剤	作物3～5 葉期	100～150ml	1	品種により薬害が生じる恐れがある。 使用後はスプレーヤーの洗浄を充分に行う。
ギシギシ類	ハーモニー 75DF 水和剤	作物2～4 葉期	2g	1	薬害が生ずる恐れがあるので必ず所定量及び使用時期を守り、均一に散布すること。 使用後は専用の洗剤を使用し所定の洗浄方法に従って処置する。

注1) アトラジンを含む農薬(ゲザノンゴールド、ゲザプリムフロアブル)の総使用回数は1回

注2) デュアールゴールドを土壌処理剤として使用した場合、総使用回数によりゲザノンゴールドを茎葉処理剤として使用することはできません。